

学校評価総括表

畝傍高等学校定時制課程

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)	令和4年度末の目標値等(C)	令和4年度末の状況(D)	自己評価(E)	学校関係者評価(F)	改善方策(案)
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	望ましい生活習慣の確立	面談による生徒への生活習慣改善の提案と指導。	生活習慣に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答70%以上	・学年が高くなるにつれて、遅刻・欠席が多い傾向が見受けられる。 アンケート項目の肯定的回答(78.5%)	B	B	欠席者に対する家庭連絡の徹底。 遅刻生徒への個別指導。 (就業状況の把握と夜間の生活時間の聞き取り。)
	生徒の自己有用感の向上	生徒が企画・立案する生徒会活動の活性化。	自己有用感に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答65%以上	・生徒との面談の充実をはかっている。(年2回の面談) ・体育大会の開催や文化祭の内容を充実させた。 アンケート項目の肯定的回答(89.5%)	A	A	取組を継続していく。
	基本的な生活習慣・規範意識醸成指導の充実	挨拶運動の展開。教室清掃や整備の励行。	規範意識醸成に関する「生活アンケート」項目の肯定的回答85%以上	・校内における不良行為等は見受けられない。 ・大掃除を恒常的に計画・実施している。 アンケート項目の肯定的回答(94.0%)	B	A	校内巡回指導の徹底。 集会における生徒指導部長講話の充実。
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	学習意欲の向上	電子黒板の活用・BYOD指導の校内研修の充実。	学習意欲に関する「授業アンケート」項目の肯定的回答65%以上	・1年生のBYODを活用した授業は定着しつつある。積極的に活用して授業に取り組んでいる。 アンケート項目の肯定的回答(84.1%)	A	A	取組を継続していく。
	学力の習得と向上	教員相互の授業見学による指導力向上。	授業内容の理解に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答70%以上	・少人数を生かした指導がなされ、生徒の満足度も高い。 アンケート項目の肯定的回答(89.2%)	A	A	取組を継続していく。
	コミュニケーション能力の向上	話し方講習会やマナー講演会の企画・立案。	コミュニケーションスキルアップを図るホームルームや講演会の年1回の計画と開催	・進路、人権教育、生徒指導のホームルームや講演会が予定されていたので、日程の確保が難しく、今年は実施できなかった。 ・新たな形の学校行事を開催したことにより、生徒が主体的に参画するようになり、生徒相互のコミュニケーションが活発になってきた。	B	B	コミュニケーションスキルアップを図る講演会の計画実施。 生徒間の交流が活発化する学校行事等の見直しと、特別活動の活性化。

3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の推進	外部講師による進路講演会の充実。	進路ホームルーム年2回、進路講演会年1回の開催	・春秋の2回、外部講師を招いた進路講演会と、進路HRを実施している。特に3、4年生の進路HRでは、進学・就職に向けた面接指導に重点を置いている。	B	A	卒業生の体験談報告会の充実。(個別相談指導会等)
	進路情報提供の充実	学校発出文書の発行(進路だより)。	学校からの進路情報提供に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答65%以上	・卒業予定者に、進学・就職指導に関する情報は個別に提供されているが、1、2年に対する情報提供が少ない。アンケート項目の肯定的回答(90.0%)	A	A	進路情報誌や就職関連資料を教室に置くなど、情報提供の強化。
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会での意見を参考とした行事・計画の立案。	学校運営協議会の定期開催(年3回)	・定時制の取組に理解・協力していただいているご意見をいただいた。	B	B	夜間行事等の開催に対する近隣住民の理解及び協力要請の継続。地域と連携した行事の模索と参画。
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」に関連する内容を取り入れた授業の立案。	奈良県の地場産業に関する「奈良TIME」の学習活動年2回	・食材加工品を扱う県内の企業から講師を招聘し、奈良県の郷土産業について学習した。(奈良県の業業との関連等) ・「総合的な探究の時間」で、奈良県の魅力(観光等)について取り扱った授業を展開した。	B	A	県内の地場産業企業から講師を招聘。生徒の郷土理解と産業に対する興味・関心の高揚。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	いじめアンケートの実施と考察。	いじめのない学級・学校づくりに関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答100%	・現状把握のため、2回の「いじめアンケート」を実施したが、いじめ事象は確認されなかった。アンケート項目の肯定的回答(89.3%)	B	B	生徒から発信される情報の把握。教員間の情報共有と、事象や状況の検討。
	人権教育の推進	人権HRおよび人権講演会の企画・立案。	人権意識の向上に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答100%	・学級活動や学校行事を見直し、新たな取組を創設している。アンケート項目の肯定的回答(90.0%)	B	B	生徒の仲間づくり意識が高まる学級・学校行事等の充実。

評価結果の分析、今後の改善方策等

<p>2回の学校生活アンケートにおける、「私は本校に入学して良かったと思っている。」という質問の肯定的回答は93.3%となっている。</p> <p>生徒の意見を聞きながら学校行事等を活性化したことが、よい効果を生んでいる。</p>	<p>数値目標</p> <p>項目(C)に対する項目(D)の達成率</p> <p>A = 120%以上</p> <p>B = 80%以上120%未満</p> <p>C = 80%未満</p>
---	---